



Research, Service, Technology

を追求していきます

アーレスティは、R・S・T〈Research〉〈Service〉〈Technology〉という三つの言葉の統合です。Rは単に研究・開発だけでなく、より一層お客様のお役に立っていくための創意と探求、Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点、そしてTはこのRとSを支える知識と技術を示しています。私たちは常に、より品質の高いResearch、Service、Technologyを追求し、さまざまな製品を通して、広く社会のお役に立ちたいと願っております。

アーレスティの事業



ダイカスト

高い技術を駆使し、自動車のエンジン、足回り、ボディなどのダイカスト製品を生産しています。



アルミニウム合金地金

缶、サッシ、自動車スクラップなど、多様な原料をもとに、高品質のアルミニウム合金地金を生産しています。



完成品

コンピュータールーム、クリーンルームなどにおける最新のニーズにお応えする製品を開発・提供しています。

Contents

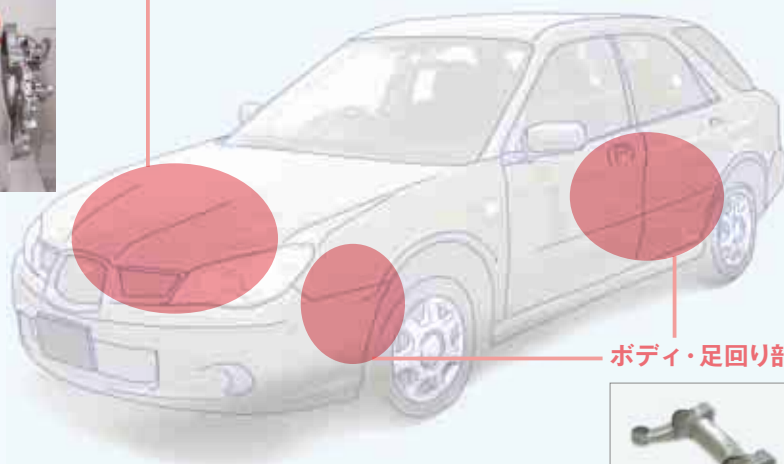
トピックス	3	グローバル展開	9
連結財務ハイライト	4	事業の概況	11
株主・投資家の皆様へ	5	企業の社会的責任	15
本部長メッセージ	7	企業情報／株式情報	18

私たちは、ダイカストのリーディングカンパニーです。

アーレスティは、自動車のエンジン、トランスミッションなどを中心に、様々なダイカスト製品を製造しています。近年では、自動車の軽量化ニーズに伴い、ボディ・足回り関連部品のダイカスト化を積極的に推進しています。

パワートレイン

- エンジン
- トランスミッション



ボディ・足回り部品



あゆみ

- | | |
|--|--|
| <p>1938年 6月 ● 当社の前身志村アルミニウム株式会社創立
アルミニウム合金地金、ダイカスト製品、
アルミニウム砂型鋳物の製造を開始</p> <p>1943年 11月 ● 扶桑軽合金株式会社を設立、ダイカスト製品、
アルミニウム砂型鋳物の製造を開始</p> <p>1960年 3月 ● 株式会社日本精密金型製作所(現：株式会社
アーレスティ ダイモールド浜松)を設立
7月 扶桑軽合金株式会社浜松工場操業開始(現：東海
工場(浜松))</p> <p>1961年 10月 ● 扶桑軽合金株式会社の株式を東京証券取引所
第2部に上場</p> <p>1962年 4月 ● 東海精工株式会社(現：株式会社アーレスティ
ブリテック)設立</p> <p>1963年 3月 ● 京都ダイカスト工業株式会社豊橋工場
(現：東海工場(豊橋))操業開始</p> <p>1971年 3月 ● 栃木フソー株式会社(現：株式会社アーレスティ
栃木)を設立</p> <p>1972年 3月 ● 株式会社ダイテック(現：株式会社アーレスティ
ダイモールド栃木)を設立</p> <p>1976年 9月 ● 熊本フソー株式会社(現：株式会社アーレスティ
熊本)を設立</p> <p>1981年 3月 ● 株式会社ダイテック熊本工場(現：株式会社
アーレスティ ダイモールド熊本)操業開始</p> <p>1984年 7月 ● 扶桑軽合金株式会社熊谷工場操業開始
8月 扶桑軽合金株式会社東松山工場操業開始</p> <p>1985年 5月 ● バスカル販売株式会社(現：株式会社アーレスティ
テクノサービス)を設立</p> | <p>1988年 6月 ● Ahresty Wilmington Corporationを設立
10月 社名を扶桑軽合金株式会社より株式会社アーレ
スティに変更</p> <p>1989年 10月 ● 株式会社アーレスティ'89年度デミング賞
実施賞(中小企業賞)受賞</p> <p>1997年 2月 ● Thai Ahresty Die Co., Ltd.を設立
3月 株式会社アーレスティISO9001(建材)
認証取得
株式会社アーレスティISO9002(ダイカスト・
アルミニウム)認証取得</p> <p>2001年 3月 ● 株式会社アーレスティISO14001認証取得</p> <p>2002年 7月 ● Thai Ahresty Engineering Co., Ltd.を設立</p> <p>2003年 8月 ● 広州阿雷斯提汽车配件有限公司を設立
10月 京都ダイカスト工業株式会社と株式会社アーレ
スティが合併
11月 第20回素形材産業技術表彰にて「経済産業大臣
賞」受賞</p> <p>2005年 3月 ● 阿雷斯提精密模具(広州)有限公司を設立
4月 バスカル工業株式会社と菅原精密工業株式会
社が合併し、社名を株式会社アーレスティ山形に
変更
6月 本社を東京都中野区中央に移転</p> <p>2006年 6月 ● Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.を設立
9月 テクニカルセンター開設</p> <p>2007年 1月 ● Ahresty India Private Limitedを設立</p> <p>2010年 8月 ● 合肥阿雷斯提汽车配件有限公司を設立</p> <p>2011年 4月 ● 浜松工場と豊橋工場を統合し、東海工場として再編</p> |
|--|--|

【国内】

東海工場（浜松）跡地の移管完了後の譲渡先決定

今後縮小される国内需要に見合った生産体制再編のため、2013年3月を目処に東海工場（豊橋）を母体とした東海工場（豊橋）と東海工場（浜松）の集約、再編を進めております。資源の有効活用の観点から移管完了後の東海工場（浜松）跡地売却の検討を進めてきましたが、株式会社フィールコーポレーション（愛知県名古屋市 スーパーマーケットチェーン）へ28億円にて譲渡することが決定し、2012年3月30日に不動産売買契約を締結しました。なお、固定資産譲渡益については、2014年3月期の特利益に計上する予定です。



【アジア】

タイアーレスティダイ（金型）操業を再開

アユタヤ県ハイテク工業団地において、金型を製造するThai Ahresty Die Co., Ltdは、2011年10月にタイで起こった大洪水により1ヶ月半に渡り浸水の被害を受けましたが、2012年3月に操業を再開しました。



タイアーレスティダイ外観

中国ダイカスト製造拠点の拡張

合肥阿雷斯提汽车配件有限公司は、2010年8月に設立、2011年7月に稼働を開始しました。2012年4月には、2期工事（加工工場）も完了し、更なる拡張に向けて2012年末までに隣接する預留地の一部を取得し、第3期拡張を行う計画を進めています。

合肥アーレスティ（建屋面積）
2012年8月現在 14,000㎡
第3期工事 5,100㎡
(2013年5月竣工予定)



合肥アーレスティ第3期工事完成予想図

広州阿雷斯提汽车配件有限公司は、2011年9月に隣接地使用权取得契約を締結し、2012年5月に新工場建設に着工しました。これにより、現在近隣に賃借している倉庫等を返却し、物流や工場内のレイアウトを整え、より効率的な生産を目指します。

広州アーレスティ（建屋面積）
■第1工場 26,300㎡
■第2工場 10,400㎡
■新工場 16,000㎡（第1期）
(2013年3月竣工予定)



広州アーレスティ新工場完成予想図

【北米】

アーレスティメヒカーナ鑄造、加工工場の拡張工事着工

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.は、2007年の操業開始より順調に成長、拡大を続けており、引き続き旺盛な需要に対応するため、2012年3月に鑄造工場および加工工場のさらなる拡張工事に着工しました。

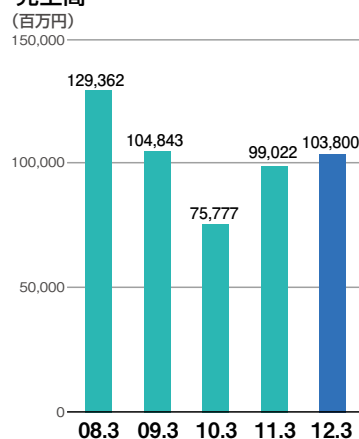
アーレスティメヒカーナ（建屋面積）
2012年3月現在 28,000㎡
増築面積 2,600㎡（2012年秋頃竣工予定）



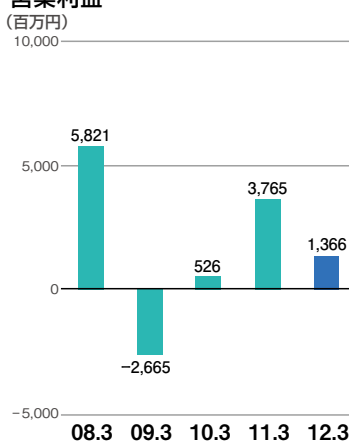
アーレスティメヒカーナ拡張工事完成予想図

連結財務ハイライト

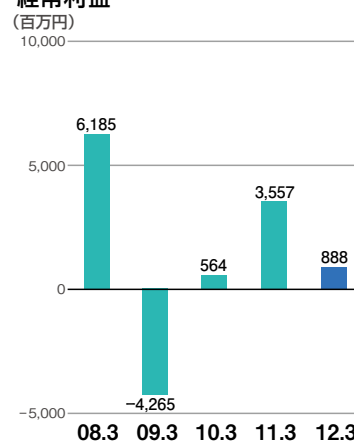
売上高



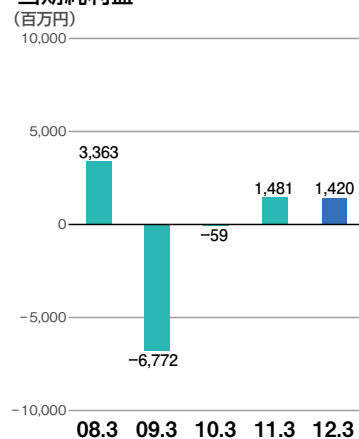
営業利益



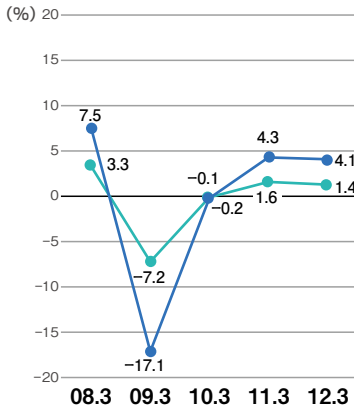
経常利益



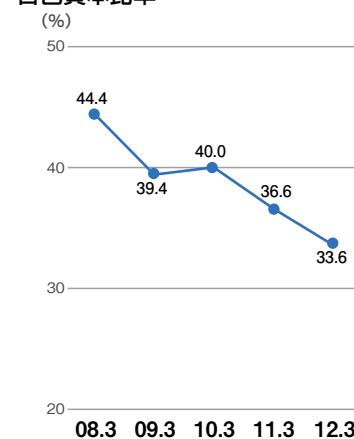
当期純利益



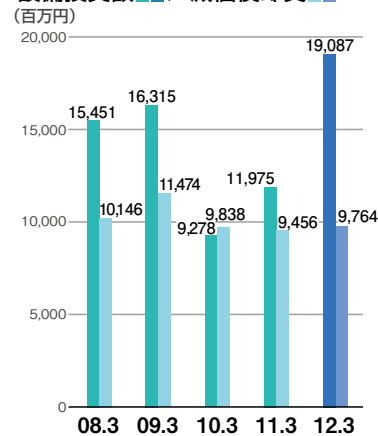
自己資本当期純利益率(ROE) 総資産当期純利益率(ROA)



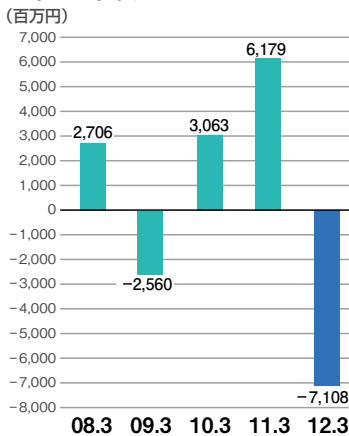
自己資本比率



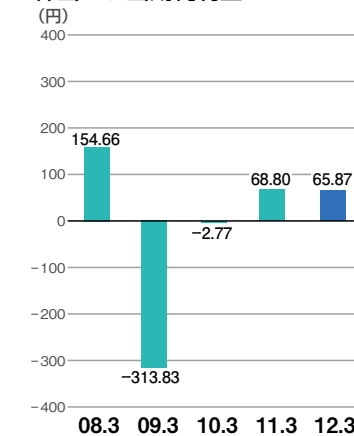
設備投資額※1 / 減価償却費※1



フリー・キャッシュ・フロー※2



1株当たり当期純利益



※1 金額は金型を含みます。 ※2 フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー－設備投資額（金型を除く）

ものづくりの基盤強化と海外展開



2010年度からの三カ年計画で「ものづくりの基盤強化」を推進しています。

しかし残念ながら2011年度は製品保証費用の特別損失を発生させてしまいました。当該製品のお客様及び株主各位にはご迷惑をお掛けし誠に申し訳ありません。その後技術標準の見直しなど徹底的に行い再発防止を行いました。合わせて組織の見直しも行い、技術本部を発展的に解消し、製造本部下の生産技術部に設計部門を配し、技術部も製造本部下とし、設計・技術をものづくり部門に集約し効率的に品質と生産性を追求できる組織といたしました。

2011年度は、国内での震災影響が大きかったものの、北米とアジアでの売上増加により、売上高は1038億円となりました。ダイカスト部門の海外売上比率は2010年度の30%から3ポイント増加し33%となりました。販売重量では、2010年度の28%から37%まで増加しております。海外売上比率は2012年度に40%となり、2014年度では国内を超えると予測しております。このような環境下、中国の安徽省合肥市にて新工場が操業を開始いたしました。広州工場では隣接地を取得し来年3月竣工に向けて加工工場と出荷倉庫を増築し、5拠点に分散している広州地区の生産拠点を2拠点に集約し生産能力と効率の向上を進めております。また広州の金型製作能力を増加させるためにダイモールド広州の工場の増築を実施しました。メキシコ工場においても増加する売上に対応するために、鑄造工場と加工工場の増築を進めております。収益面では、震災の影響やメキシコでの増産対応への遅れによる費用増などにより減益となりましたが、生産性の向上などの施策を徹底し収益改善に努めてまいります。

自動車生産の減少が予測される国内の生産再編については、東海工場の浜松地区から豊橋地区への生産集約を計画通り推進しております。浜松地区跡地の売却も三月末に決定いたしました。来春には浜松地区での

生産を終了する予定です。

さて、2012年度は2010年からの三カ年計画の最終年度です。品質を中心としたものづくりの基盤整備を推進いたします。そして2013年度からの新三カ年計画を年度内に策定し、お客様に信頼されるグローバルパートナーを目指してまいります。

引き続き皆さまのご支援とご理解をお願いいたします。


代表取締役社長
最高執行責任者 高橋 新

中期経営計画

「更なる飛躍に向けて品質を中心とした基盤強化」

当社グループの長期的な経営の方向性を示した「10年ビジョン」をベースとしつつ、グローバル需要拡大に対応すべく中国・メキシコを中心とした海外ダイカスト事業の拡大、国内需要の縮小を見据えた効率的な生産体制の確立を進めると共に、更なる飛躍に向けて品質を中心とした基盤強化の方針を「1012 3カ年アーレスティ方針」として掲げ、経営資源を最大限に活用し、全従業員が積極的に活動し、計画達成を目指して全力で取り組みます。

①ものづくりの品質基盤強化

お客様の信頼と期待に応える品質の製品を提供するため、設計から出荷までの各工程において、不良を作らない・流さないための管理技術・固有技術を高める施策、サイクルタイム短縮の施策等を展開し、品質システムの向上、顧客満足度の向上、生産性の向上を目指し、すべてのプロセスでものづくりの基盤強化を進めます。

②プロフェッショナル人財の育成

グローバルでの競争激化が予想される厳しい環境下において、社員一人ひとりがプロとしてアーレスティウェイを実践し企業成長を支える人材に成長できる環境づくりと品質教育を始めとした能力クラス別専門教育、マネジメント・エキスパートの育成などの施策を進めます。

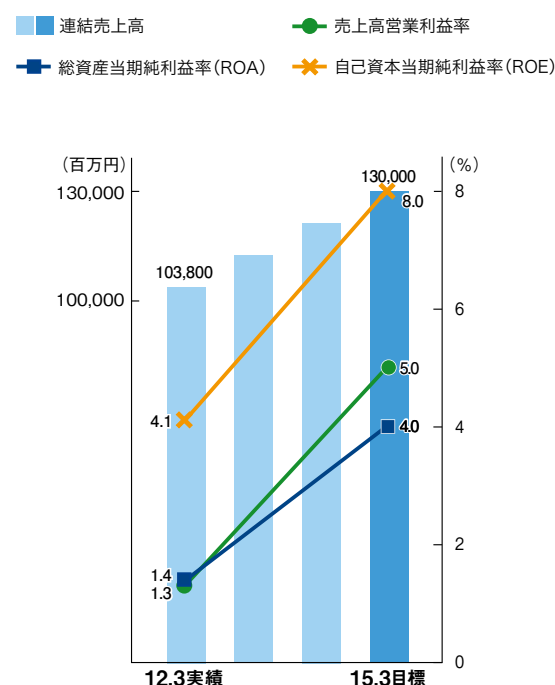
③グローバル経営システムの構築と展開と周知

グローバル化が進む中で効率の良い組織と機能の実現のため、グローバル標準の整備を中心に経営・営業・製造機能の基盤強化の施策を進めます。

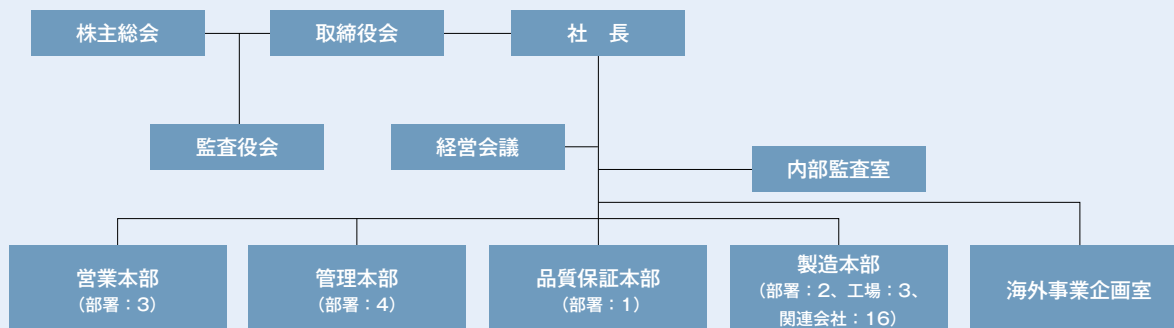
④リスクマネジメント

事業継続マネジメントの構築と地震等の主要リスクに対する事業継続計画の策定・推進を進めます。

■中期経営計画の目標値



アーレスティグループは、営業本部、管理本部、品質保証本部、製造本部の4本部制を採用しています。



グローバルアーレスティの成長のための 品質保証システム向上の推進役になる



取締役専務執行役員
品質保証本部長 石丸 博

「グローバル飛躍のための品質基盤強化」の仕上げの年である2012年度は、今まで改善してきた内容の定着期としたいと考えています。日本では、TS16949の取得に向けた標準類の整備が完了し、実際の業務での活用が始まっています。これは、アーレスティの品質保証システムがグローバルで顧客の要求品質に対応するための進化としてやり遂げなければなりません。一方、海外の拠点においては現地従業員の品質改善活動への参画の割合が大幅に

良くなり、改善意識が高くなっています。これらの活動が当たり前に出来るような仕組みづくり、標準化が品質保証本部の役割であり、グローバルアーレスティの成長のためにスピード感をもって品質保証システム向上の推進役を果たしてゆきます。

ものづくりの基盤を強化していきます。 「型をつくり、型を守る。型を破る。」

ものごとには定石や型があります。そこには先人の発見した理論や、多くの経験から生まれた知恵が盛り込まれています。当社のものづくりの中にも、「こうすれば良い」とわかっている型が多くあります。型を使いこなすには、まず勉強し適用（活用）することです。これが「型を守る」ということです。歴史を振り返ってみれば、定石や型は何度も破られてきています。そして、それが進歩につながっています。

取締役専務執行役員
製造本部長 野中 賢一

ガリレオの地動説などのように科学史に残る有名な話もありますが、コンビニエンスストアや宅配便のようなものも定石や型を破って生まれたものです。定石や型は先人の知恵の結晶であり、まずは徹底して使いこなし「型を守る」こと。理由もなく破るべきではない。そういうことを十分にわきまえた上で、「型を破る」知性と勇気をもって進んでゆきたい。



マネジメントの改善、人財の育成と能力を発揮できる環境整備、標準化の推進により強固な事業基盤を確立

取締役専務執行役員
管理本部長 古屋 茂

2011年度は、ものづくり基盤整備の2年目として全職位を対象とした品質教育の再構築とその推進、並びにすべての職務におけるプロを育成するために専門教育体系の確立と推進を行いました。さらにグローバル標準化の組織的推進を図るべく、基本規程の整備を行いました。それぞれの展開にはやや力強さが欠けたものの、課題は明確となりました。

2012年度は1012 3カ年アーレスティ方針の最終年であるとともに、2013年以降の大きな飛躍のた

め、管理本部として①プロフェッショナル人財の育成、②グローバル経営システムの構築と展開と周知、③リスクマネジメントの構築とBCMの策定、推進を掲げ、経営資源を最大限に活用し、計画達成を目指し全力で取り組んでまいります。



確度の高い市場情報を共有し、新興国地域の実情に応じた営業活動を展開

常務執行役員
営業本部長 金田 尚之



未曾有の大災害を経験し迎えた2011年度は、歴史的な円高に対応しながらも通期としては自動車メーカー各社の国内自動車生産は旺盛でした。しかし、自動車生産の海外移転、国内工場再編の波は、本格化しております。これから成長するであろう市場は、新興国と言われる国々であり、自動車は小型・低価格が主体という、自動車部品産業に携わる当社にとって厳しい価格競争にさらされる環境でもあります。

この厳しい環境に打ち勝つコスト競争力を向上させる

ためにも、新興国地域での市場情報の確度を高め、社内での情報共有を徹底し、各地域の環境に合わせた営業活動を展開してゆきます。

自動車メーカーのグローバルでの成長戦略に貢献するため、2012年度も引き続き顧客満足度の向上を重点に営業活動を実行してまいります。

新設部署の紹介

2012年6月に海外事業企画室が新設されました

常務執行役員
海外事業企画室長 坂元 哲夫

アーレスティは2010年度から2012年度にかけ、更なる飛躍のための基盤づくりの期間として品質や生産性の改善にグループ全体で取り組んできました。2013年度以降の新たな飛躍のために、多くの国内外顧客からの要望に応え、どのようなタイミングで、どこに、どのような規模の拠点をどのような形態で作り、グローバルアーレスティの中でどういった位置付けにするのかを検討・企画するのが

当室の役割です。

すでに種々検討を始めていますが、顧客各社の今後の海外展開・能力増強計画や各地域の事業環境を勘案しながら、タイミングを逃すことなく、かつ、アーレスティの持てる資源を考慮しながら新規海外事業について企画提案してまいります。



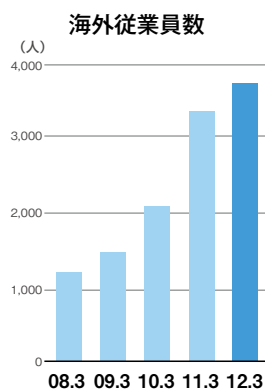
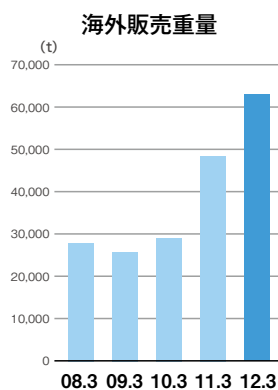
世界中のお客様のニーズに対応するため、積極的にグローバル展開を推進しています

より早く効率的にお客様に製品を安定供給するために、アーレスティは積極的に海外展開を推進しています。アメリカ オハイオ州ウィルミントンに次ぎ、中国広州、中国合肥、メキシコ、インドにもダイカスト製造工場を設立し、順調に生産量を拡大しています。これまで培ってきた技術とノ

ウハウをそのまま活かし、高品質な製品をグローバルで製造・販売しています。また、タイ、広州、メキシコの金型拠点も含め、材料・金型・ダイカストなどすべての事業において相互補完体制を構築し、グローバルかつグループ・ワイドでの全体最適の実現を目指しています。



海外販売重量／従業員数推移





●Ahresty Wilmington Corporation

1989年から北米の拠点として機能。ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付を担っています。月産能力は1,500トン。

2627 S.South Street, Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.



●広州阿雷斯提汽车配件有限公司

2004年度に操業開始。ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付を担っています。月産能力は2,500トン。

中華人民共和国広東省広州経済技術開発区永和経済区新豊路7号



●合肥阿雷斯提汽车配件有限公司

2011年度操業開始。中国第二の製造拠点として、ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付を担っています。月産能力は500トン。

中華人民共和国安徽省合肥経済技術開発区青龍潭路2295号



●Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.

2007年度操業開始。米国のAhresty Wilmington Corporationとの生産補完により、ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付を担っています。月産能力は1,700トン。

Calle Industria Automotriz #20
Complejo de Naves Industriales la Zacatecana
Guadalupe, Zacatecas C.P.98600



●Ahresty India Private Limited

2008年度操業開始。海外第4の拠点としてダイカスト製品製造・機械加工を担っています。月産能力は700トン。

Plot No. 194, Sector 4, Phase-II Growth Centre, Bawal, Rewari, Haryana, India

国内主要拠点



東松山工場
〒355-0812
埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
TEL.0493-56-4421



熊谷工場
〒360-8543
埼玉県熊谷市御稜威ヶ原284-11
TEL.048-533-5161



東海工場(浜松)
〒433-8520
静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
TEL.053-436-2111



東海工場(豊橋)
〒441-3153
愛知県豊橋市二川町字東向山80
TEL.0532-41-0511



株式会社アーレスティ山形
〒992-0832
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65
TEL.0238-85-5233



株式会社アーレスティ栃木
〒321-0215
栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
TEL.0282-82-5111



株式会社アーレスティ熊本
〒869-0521
熊本県宇城市松橋町浦川内36
TEL.0964-33-3111



テクノカルセンター
〒441-3114
愛知県豊橋市三弥町中原1-2
TEL.0532-65-2170

ダイカスト

他社に先駆けて新技術を開発 ダイカスト業界でトップレベルの信頼を獲得



アーレスティの主力事業はアルミニウムダイカストです。自動車産業の発展とともに事業規模を拡大し、売上を伸ばしてきました。

多様化するニーズに応える一方で、ダイカストのネック技術の原因解明を行ってきた結果、他社に先駆けて新技術を次々と開発。従来ダイカストでできなかったものづくりを可能にし、品質や生産効率を向上させるなど、ダイカスト業界での地位を確立しています。

今後も、アルミニウムダイカスト、マグネシウムダイカストにおいて、軽量化、リサイクルを通して環境保護に貢献できるよう、さらなる技術革新を目指していきます。

主要なダイカスト製品

アーレスティが生産するダイカスト製品の8割は四輪自動車の部品です。その他に、オートバイ、発電機や船外機部品なども製造しています。

- アルミダイカスト製品
 - ・エンジン用
 - ・トランスミッション用
 - ・足回り部品 など
- マグネシウムダイカスト製品
- 金型鋳物製品（グラビティーダイカスト）
- その他
 - ダイカスト用金型
 - ダイカスト周辺設備
 - 中古ダイカストマシン再生販売

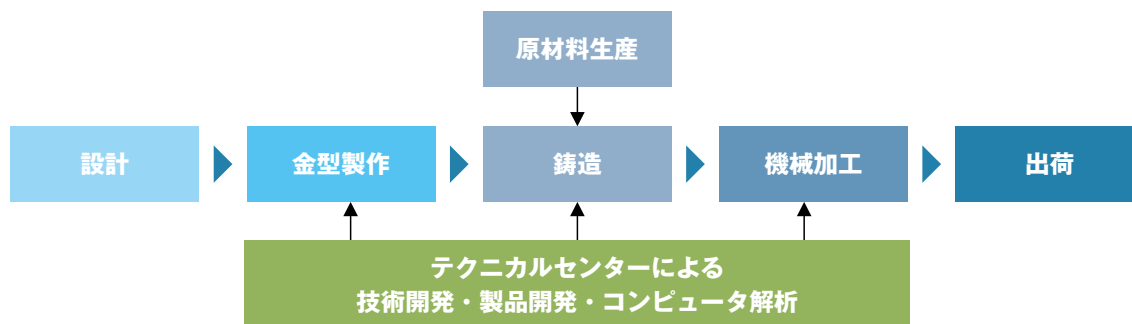
ダイカスト製品の特徴

ダイカストのダイ(Die)は金型、カスト(Cast)は鋳物を意味しますが、一般的な意味のダイカストは、金型を用いて高速、高圧鋳造した鋳物やその製法を表します。

ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており鋳肌が美しいことです。

表面が滑らかな製品を製造することができるため、その後の加工処理が少なく済む利点があります。ダイカストのそのような特徴から複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

アーレスティのダイカスト生産体制 ～原材料生産から機械加工までの一気通貫生産体制～



今期の業績報告

【ダイカスト日本】

国内では、主要販売先である国内自動車メーカーにおいて、上期は東日本大震災の影響により大幅に自動車生産が減少しましたが、下期はタイの洪水被害による影響があったものの東日本大震災からの回復、エコカー補助金の復活による国内市場活性化効果等により増産となりました。当社においても、それらの影響を受けて受注が推移したことにより、売上高は65,114百万円（前期比0.8%減）となりました。収益面においては、上期の受注減少等による減益の影響が大きく、セグメント利益は1,463百万円（前期比24.1%減）となりました。

【ダイカストアジア】

中国では、一時的に東日本大震災の影響により受注が減少したものの、引き続き旺盛な自動車販売状況の下、夏季以降の受注は高水準で推移しました。インドでは、ガソリン高による自動車販売低迷や一部顧客の減産の影響があったものの、新規製品の立ち上がりにより受注が拡大し、アジアでの売上高は13,723百万円（前期比17.6%増）となりました。収益面においては、中国での東日本大震災の影響、育成過程にあるインドの影響等により、セグメント損失は504百万円（前期はセグメント利益723百万円）となりました。

来期への展望

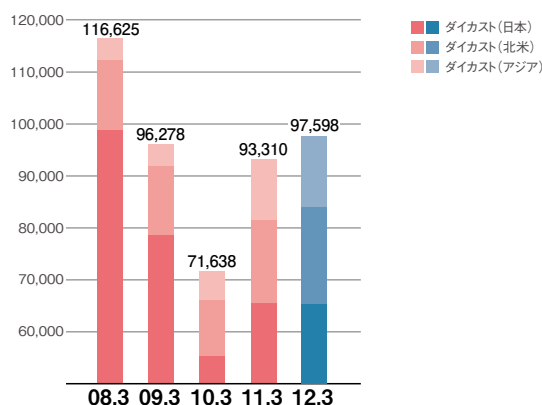
中長期的には、新興国を中心とした自動車需要の増加、先進国における需要回復、軽量化によるアルミダイカスト採用増によりグローバルでのダイカスト需要は拡大していくものと見込まれます。

一方、国内においては、少子高齢化などに伴う国内自動車販売の減少、為替リスク回避などに伴う海外自動車生産の増加などにより、国内ダイカスト需要は横ばいまたは、縮小するも

【ダイカスト北米】

北米では、東日本大震災の影響で減少した主要顧客からの受注も上期後半より回復し、メキシコでの受注も拡大したことから、売上高は18,761百万円（前期比17.1%増）となりました。収益面においては、メキシコでの受注増への対応の遅れを挽回するための費用が発生したこと等により、セグメント利益は314百万円（前期比69.4%減）となりました。

売上高推移
(百万円)



のと予想されることから、浜松工場と豊橋工場を東海工場として統合し、2013年3月を目処に集約・再編すべく進めています。

当社グループは、中国、メキシコを中心とした海外事業拡大に注力し、より確実な基盤固めをするために、2012年度も継続して投資を継続しつつ、引き続き国内外の生産性の改善、コスト低減活動を推進し、収益改善を図ります。

アルミニウム合金地金

業界トップクラスの設備とノウハウで、 多様な材料から高品質の製品を生産

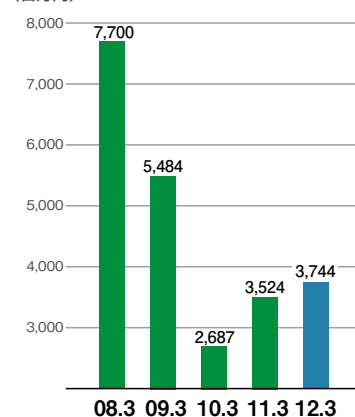


アーレスティ熊谷工場は、1958年、業界初の日本工業規格（JIS）表示許可工場に認定され、1997年には、改正民活法におけるアルミニウム缶リサイクル施設として、全国で初めて通産省から認定を受けました。アルミニウム缶、サッシ、自動車の解体スクラップなど、多様な原料をもとに機械的性質に優れたアルミニウム合金地金を生産しています。アーレスティが持つ最新の設備、卓越したリサイクルのノウハウによって、工業用地金として活用されています。アルミニウムインゴットの月産能力は3,000トン。日本各地へと出荷され、高い信頼を得ています。

今期の業績報告

アルミニウム事業においては、受注量は東日本大震災の影響による上期の減少分を下期に挽回することができたことにより、売上高は3,744百万円（前期比6.3%増）となりました。収益面においては、原価低減活動による一定の効果が得られたものの、円高等による市況販売価格の低迷もあってセグメント損失は42百万円（前期はセグメント損失13百万円）となりました。

売上高推移
(百万円)



来期への展望

2012年度上期につきましては、トラック・建機業界の需要減退感があるものの自動車メーカー各社の生産が好調であるため、昨年度下期比においても販売量が増加するものと見込んでいます。また、重油、電気、都市ガス等エネルギー価格が上昇している背景から省エネ活動を進め、一定の効果을上げています。

2012年度下期につきましては、今春から夏まで続いた市況低迷と円高の影響により秋以降の販売価格が非常に厳しくなると予想され、かつ、自動車販売需要の低迷も懸念されることから、より一層の原価低減や業務効率改善活動に尽力して上期以上の収益を上げるべく活動していきます。

完成品

各方面で導入が進むフリーアクセスフロア 時代のニーズに応じて次々と新製品を開発



1962年、アーレスティは日本で最初のアルミニウムダイカスト製のフリーアクセスフロアパネル「モバフロア」を開発しました。フリーアクセスフロアとは、配線・配管を床下に納める二重床システムのことです。一般オフィスや病院などに幅広く利用されていますが、当社では特に半導体生産工場などのクリーンルームやデータセンター、コンピュータールーム用フロアパネルに注力しています。

今期の業績報告

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業の新築・リニューアル物件の受注や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は2,455百万円（前期比12.3%増）となりました。収益面においては、競争激化に伴う販売価格の低下により、セグメント利益は72百万円（前期比14.3%減）となりました。

来期への展望

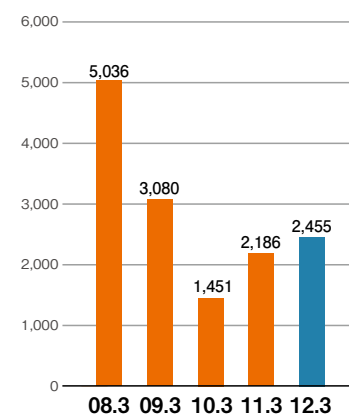
国内のデータセンター市場については、スマートフォンやタブレット端末向けのデータ処理増に伴い市場拡大を期待しております。これらの市場に対し、品質・価格・納期・営業力を強化し展開を図る考えです。

一方、国内クリーンルーム市場については、電機メーカーの

設備投資は減少し、海外メーカーに委託生産する戦略などを各社が打ち出していることから、データセンター市場に経営資源を集中し、販売強化を図る考えです。

また、海外については中国、東南アジア向けとして販売代理店を確保し、商品を中国から直販し、拡販を図る計画です。

売上高推移
(百万円)



環境負荷をできるかぎり減らす努力を重ね、 「環境にやさしい企業」を目指しています

アーレスティでは、美しい地球環境を守るために、私たちが持つ技術の応用、環境に配慮した製品づくりなどの面から、一步一步環境保全活動を続けています。

原料からつくる場合の約3%のエネルギーで再生できるアルミニウムは「リサイクルの優等生」と呼ばれ、自動車の軽量化を通してCO₂削減に貢献するなど、環境にや

さしい性質を持った金属です。

私たちは循環型社会を推進するリサイクル事業と、廃棄物ゼロ活動や省エネ・省資源、LCA (Life Cycle Assessment) などに積極的に取り組むことによって「環境にやさしい企業」の実現を目指しています。

環境・社会報告書2012

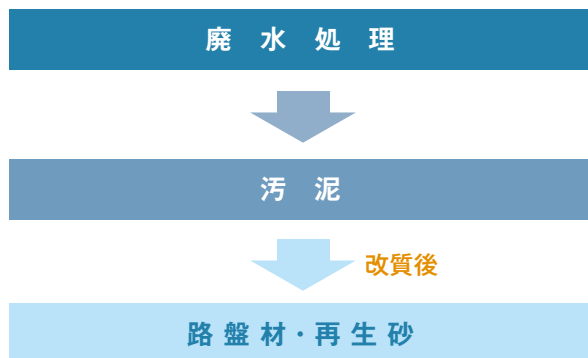


アーレスティでは、毎年、環境・社会報告書を発行しています。事業活動を通じた環境への取り組みをステークホルダーの皆様にご理解いただけるよう努めています。

環境保全への配慮

廃棄物ゼロ工場を目指し、廃棄物再資源化に取り組んでいます。従来埋め立て処分されていた汚泥を、路盤材や再生砂にリサイクルできるようにしたことが一例です。

リサイクル一例



ISO14001 認証取得



下記の事業所等でISO14001:2004認証を取得し、環境保全に貢献しています。

ISO14001:2004 認証取得

本社
東海工場（浜松）
東海工場（豊橋）
東松山工場
熊谷工場
テクニカルセンター
株式会社アーレスティ栃木
株式会社アーレスティ熊本
株式会社アーレスティ山形
株式会社アーレスティプリテック
株式会社アーレスティダイモールド浜松
株式会社アーレスティダイモールド栃木
株式会社アーレスティダイモールド熊本
株式会社アーレスティテクノサービス

社会に貢献していく企業であるために… そのための努力を絶えることなく続けていきます

アーレスティでは、全従業員が社会貢献の重要性を認識し積極的に諸活動に参画する企業風土を構築するため、従業員の社会貢献活動を支援しています。工場や営業所周辺の美化活動や近隣河川のクリーン活動、間伐や植栽等の森林整備を行う里山ボランティアや森づくり活動の企画推進の他、従業員が社外団体で福祉活動や献血などに

対しても、これらを行った社員に対しアーレスティエコポイントを付与し、表彰しています。

私たちは企業市民として積極的に社会貢献活動に参加し、地域社会との交流を通して地域の活性化に協力していきます。



近隣河川のクリーン活動への参加（アーレスティテクノサービス）



フラワーロードおよび河川アダプト活動（アーレスティ山形）



アーレスティの森作り活動（関東地区）



梅田川ふれあいクリーン作戦（東海工場（豊橋））



岩屋緑地里山づくりボランティア（東海工場（豊橋））



遠州灘海岸清掃活動への参加（アーレスティダイモールド浜松）



工場周辺地域の清掃活動（アーレスティ栃木）



本社周辺清掃活動

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、顧客・株主／投資家・従業員・取引先・社会という「すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業」を目指すためにも、企業価値の継続的な向上が重要であることを認識し「競争力の強化」「透明

性の高い健全な経営」の観点より、コーポレート・ガバナンスの充実を図りながら経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築するべく推進してまいります。

コンプライアンス

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、「コンプライアンス基本方針」を制定し、役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

また、コンプライアンス委員会事務局を設置し、企業活動を行うにあたって適用される法令をはじめ、企業倫理、社内規定を遵守する体制を強化しています。

コンプライアンス基本方針

- ① 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- ② 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- ③ 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- ④ 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- ⑤ 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- ⑥ 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- ⑦ 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- ⑧ 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- ⑨ 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- ⑩ 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。



アーレスティグループ行動規範

日常の業務遂行において遵守すべき基本的事項を定めた「アーレスティグループ行動規範」を制定しています。

- ① 法令等の遵守（規範の趣旨・遵守の責任に関する規程）
- ② 顧客・取引先との関係（自由競争と公正な取引等に関する規程）
- ③ 株主・投資家との関係（企業情報、インサイダー取引等に関する規程）
- ④ 従業員との関係（人権尊重、プライバシーの保護等に関する規程）
- ⑤ 会社財産・情報の管理（企業秘密、知的財産等に関する規程）
- ⑥ 社会との関係（寄付行為、政治献金等に関する規程）
- ⑦ 実施要領について

企業情報

会社概要 (2012年3月31日現在)

商 号：株式会社 アーレスティ
設 立：1943年 11月 2日

資 本 金：51 億 1,759 万円
従業員数：【連 結】 6,091 名 【単 独】 984 名

役 員

■取締役および監査役の氏名(2012年6月22日現在)

代表取締役社長
最高執行責任者 高橋 新

取 締 役
専務執行役員 野中 賢一

常 勤 監 査 役 熊木 勉

常 勤 監 査 役 見目 康夫

取 締 役
専務執行役員 石丸 博

取 締 役
専務執行役員 古屋 茂

社 外 監 査 役 早乙女 唯夫

社 外 取 締 役 原 隆

社 外 監 査 役 志藤 昭彦

株式情報

(2012年3月31日現在)

株式数および株主数

発行可能株式総数： 60,000,000株

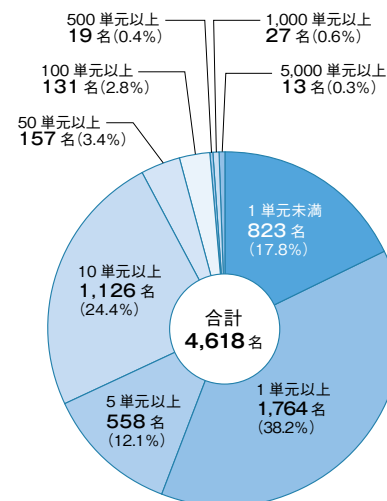
発行済株式の総数： 21,778,220株

株 主 数： 4,618名

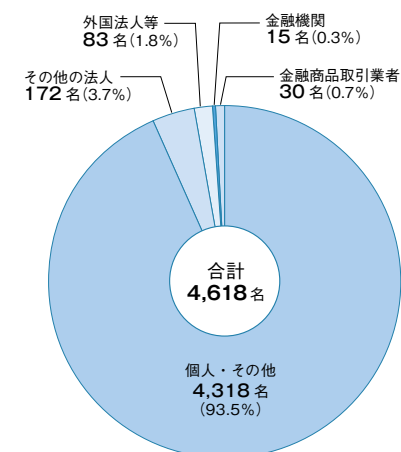
大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,032
高橋 新	915
株式会社三菱東京UFJ銀行	765
モルガンスタンレーアンドカンパニーエルエルシー	738
本田技研工業株式会社	672
日本軽金属株式会社	657
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH - CLIENT ACCOUNT	647
ザバンクオブニューヨークジャスディック ノントリーティアアカウント	592
アーレスティ取引先持株会	579
スズキ株式会社	565

所有株数別株主分布



所有者別株主分布





〒164-0011
東京都中野区中央 1-38-1
住友中野坂上ビル 11F
TEL.03-5332-6001
FAX.03-5332-6037
URL.<http://www.ahresty.co.jp>